



マガノ（6羽）の初飛来が9月20日に確認されました。  
例年（20日飛来）と同じ、昨年（21日飛来）より1日早い飛来でした。

Vol.172

令和6年度10月号

## —「インターンシップ」受け入れを行いました

8月は学生がインターンシップに取り組む時期です。財団では、東北芸術工科大学と東北医科薬科大学（県環境対策課経由）の皆さんのが受け入れを行いました。

伊豆沼の保全活動に関する講話や、当財団が伊豆沼湖岸に整備したエコトーンを紹介しました。エコトーンでは、コツブヌマハリイやヤナギヌカボなど、絶滅の危惧される植物を観察しながら、これらの植物が生きていくためには、冠水や干出といった水位の変化と、草刈りなどのかく乱が必要なことなどを説明しました。このインターンシップを通じて、財団の行っている保全活動の意義などを理解し、職業選択などにも活かしてほしいと思います。



## —トヨタ自動車東日本(株)の皆様がCSR活動に参加



財団では、沼の植生の復元のため、湖岸を保護する柵を設置しています。トヨタ自動車東日本(株)の皆さまは、柵のパーツ作りに令和4年から参加して頂いております。自作された治具を使って組み立てていく皆さん、作業効率がUPしています。製作して頂いた柵は、秋から冬にかけて沼内に設置していく予定です。

暑い中、大変お疲れ様でした。



チーム1:板の穴あけ



チーム2:板柵の組立



チーム3:完成品の移動

# — 第5回自然体験講座開催 —

9月14日(土)に、「伊豆沼漁師体験」が開催されました。

参加した家族は、ウェーダーを履いて伊豆沼に入り、定置網や刺網などの漁具を使った漁の体験をしました。

職員の解説を聞きながらの体験に、参加した子供たちも色々な伊豆沼の魚に触れられて、楽しい時間を過ごした様子でした。

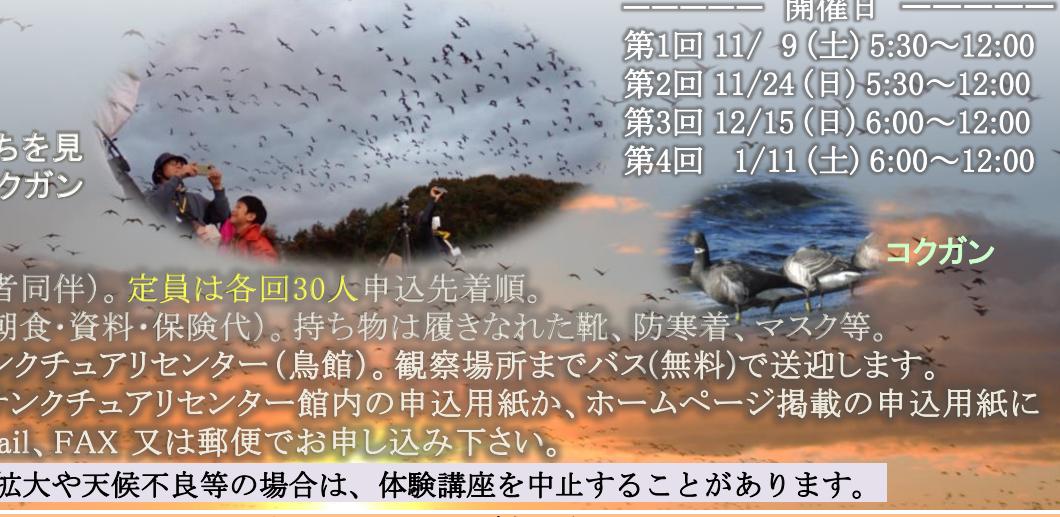


刺網漁体験の様子

## 自然体験講座参加者募集 (10月1日より受付開始)

### ガンの飛び立ち観察会 &コクガン観察会

伊豆沼で朝のマガンの飛び立ちを見た後に南三陸町志津川湾でコクガンを観察します。



参加費:(当日徴収)1人2,000円(朝食・資料・保険代)。持ち物は履きなれた靴、防寒着、マスク等。

集合場所:宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター(鳥館)。観察場所までバス(無料)で送迎します。

◆お申し込み方法等の詳細は、サンクチュアリセンター館内の申込用紙か、ホームページ掲載の申込用紙に所要の記載事項を記入の上、E-mail、FAX 又は郵便でお申し込み下さい。

注意: 新型コロナウィルス感染症の拡大や天候不良等の場合は、体験講座を中止することがあります。

## — 沼の生物観察とカキツバタの株分けを体験 —



伊豆沼に入っての観察



カキツバタの株分け

9月18日、栗原南中学校1年生の皆さん41名が体験学習を行いました。生徒の皆さんはウェーダー(胴長)を履いて沼に入り、水や沼底の感触を確かめながら水中にいる二枚貝などの生物や植物を観察しました。また、仕掛けていた定置網に入った魚に触れたりしながら伊豆沼の自然を体感しました。

水生植物園では「カキツバタ」の株分けを行い、2,3人に分かれて協力し合い、慣れない手つきで鎌やスコップを使いながら水路への植栽を行いました。皆さんが植えたカキツバタが来年の初夏に咲き誇るのが楽しみです。

## — 環境活動参加者募集中【(株)伊藤園主催】 —

伊豆沼・内沼の自然を楽しみながら学べる体験型の活動「環境活動」が、(株)伊藤園主催で開催されます。

日時: 10月26日(土)9:30~12:00頃 場所: 当サンクチュアリセンター

内容: 水辺の生き物や植物観察&環境学習会(専門職員による説明もあります♪)

応募条件: 小学生以上(グループ応募可・18歳未満は保護者同伴)

募集定員: 100名(応募者多数の場合抽選) 応募締め切り: 2024年10月6日(日)

申込方法: 右記QRコードまたは下記ウェブサイトから

(<https://www.itoen.jp/greenteaforgood/about/miyagi01/>)



〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2  
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター  
指定管理者 (公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel0228-33-2216 Fax0228-33-2217  
ホームページ:<http://izunuma.org/>  
E-mail:[izunuma@circus.ocn.ne.jp](mailto:izunuma@circus.ocn.ne.jp)

